

Year: 2019

Location: Japan

Program: 医療 福祉施設, 宿泊施設

クアパーク長湯



クアパーク長湯は、クアハウスとクアレストラン、クアホテルからなる滞在型健康増進施設である。

クアハウスは、スキップフロア2層の空間を1.8Mの短い丸太を組み合わせた相互依存構造の大屋根で覆った温泉棟と、長さ約50Mの歩き湯からなり、そこには従来の裸で入る温泉ゾーンと、男女そして外国人も楽しめる水着を着て入る温泉ゾーンを設けている。温泉棟のエントランスからスロープを上がるとまず脱衣所にたどり着く。脱衣所から半階上がると裸で入る温泉、半階下がると温泉の中に入って運動のできるクアハウスゾーンとなる。ここから芹川に沿って歩行浴ゾーンである歩き湯が始まる。歩き湯の周りには季節を感じられるランドスケープが施され、自然の中で温泉を楽しみながら健康増進を図れるようになっている。

クアレストランは木と再生紙からできた紙管で構成されている。施設全体の受付にもなっており、紙管の列柱がレストランとエントランスを緩やかに分けている。

クアホテルは周辺の風景に溶け込むようにコテージ形式としている。シングルタイプとツインタイプ(ロフト有り、ロフトなし)があり、どちらもペーパーハニカムパネルをヒノキ合板でサンドイッチしたフレーム（PHP）を連続させる構法を採用している。フレームの間はベッドや机、収納などに使い、空間を効率的に利用している。

クアレストラ

クアホテル